

こんにちは！保育所等・地域連携担当です

保育所等・地域連携担当のお仕事は？



- 保育所等に通っていないお子さんを含む未就学児を対象に、**地域の子ども子育て支援**をしています。保育所等、認定こども園、幼稚園、地域子育て支援センター、こども文化センター、子育てサロン、子育てひろばなどと連携し、地域の子育て支援につながるさまざまな取組を行っています。
- 幼稚園、保育所など、小学校との連携を進め、連絡会や研修を開催し、保育士、看護師、栄養士等の専門性を深め、お互いの交流を深めながら**保育の質の向上**を目指し、取り組んでいます。

どんな組織で何を担当しているの？

保育士、看護師、栄養士などの専門職を中心に、経験や専門性を活かした仕事をしています。職員は、本庁と区役所の2つの組織に所属しており、本庁（こども未来局保育事業部）の「宮前区保育総合支援担当」の職員が、宮前区役所の「保育所等・地域連携担当」の仕事も兼務しています。本庁ではなく、保育所等や学校に近い区内で働くことで、迅速な対応ができるようにしています。



事業調整担当 (☎ 044-856-3271)

- 1 幼稚園・保育所等・小学校の連携支援

事業推進担当 (☎ 044-856-3290)

- 1 地域の子ども・子育て支援事業の企画、実施、調整
- 2 子どもに関わる関係諸機関との連携・調整

民間連携・人材育成担当 (☎ 044-856-3285)

- 1 保育の質の向上に向けた公民保育所等との連携・交流
- 2 保育・子育て支援に関わる人材の育成、地域の実情の把握・分析、施策の企画

保育所等・地域連携担当の職員は、どんな仕事をしているの？

●保育所等の先生向けの多彩な研修で人材を育成

(担当：民間連携・人材育成担当／保育士・看護師・栄養士)

3つの公立保育所をはじめ、民間保育所、認可外保育所等、宮前区内には開設年数も規模も異なるさまざまな種類の「保育所」が約100か所あります。

どの保育所等でも保護者が安心して子どもを預けられるように、さらに、保育の質を向上させ、地域の子ども子育て支援にもつながるように、さまざまな研修を行っています。

担当者から

～工夫してます！保育所等の先生が参加しやすい「デリバリー講座」～

研修は、保育士の実技が学べる研修や看護師・栄養士の専門職向けの研修、担当するお子さんの年齢別の研修、外部から講師を招いての研修など多彩ですが、先生や職員が少なく、決まった時間に行われる研修に参加しにくい園もあります。

そこで、保育所等に保育所等・地域連携担当の職員を派遣して研修を行うデリバリー講座やオンラインの研修をしています。

例えば、「初めての0歳児担任向け講座」は、保育士、看護師、栄養士の資格を有する職員が、それぞれの立場から、人格形成の基礎を培う大切な時期の子どもを受け持つ先生たちに向けて、0歳児の保育で大切にしてほしいことを伝える講座です。区職員がお昼寝の時間帯や保育所等の都合の良い時間に訪問し、その場で研修を行うので、みんなで同じ話を聞けて、参加しやすいと好評で、申込が増えています（感染拡大時にはZoomで実施）。

YouTubeで配信する研修は、グループワークはできませんが、時間がとれない環境下でも、自分の好きな時間に見ることができるため、これまでより参加者数が増えました。

このように園の状況に合わせて研修を行うことで、より多くの学びの機会を作っています。



●幼稚園・保育所等・小学校が連携し、安心して入学できるよう支援

〔担当：事業調整担当／一般事務職〕

小学1年生が感じる幼稚園や保育所等との生活のギャップや不安を軽減し、スムーズな学校生活への移行を支えています。幼稚園や保育所等と小学校の先生の会議や研修、新入学児童向け「もうすぐ1年生」の作成・配布などを行っています。

●地域での子ども子育てを支援

〔担当：事業推進担当／保育士〕

区内の保育所等、地域子育て支援センター（8か所）、こども文化センター（8か所）、子育てサロンやひろばなどと連携して、地域の親子向け講座や相談事業を行っています。地域子育て支援情報誌やリーフレットなどを発行し、情報発信を行っています。

担当者から

子育て中の不安を和らげ、子育てを楽しむ情報誌

在宅での子育てや、宮前区に転入してきた人の不安が少しでも和らぐよう、地域での子育て支援として園庭の開放や親子向け講座の開催などを行っている保育所等、認定こども園、幼稚園の情報をまとめた**地域子育て支援情報誌「あ～そ～ぼっ」**。

パパ・ママと一緒に楽しく子育てできるように作った**パパの子育てリーフレット「子育てをもっと楽しもう！」**や、**こども文化センター紹介リーフレット「いつでもあそべる」**もあります。宮前区役所3階29番窓口で配布しています。



ある日の相談から…

〔保育園に通っていないお子さんの保護者から〕

保育所等の子育て支援って、誰が利用できるの？ どんなことをしているの？

保育所等の入所に関わらず、**未就学のお子さん**と**保護者**なら誰でも利用できます。

園庭開放では、安全で清潔な**園庭**で、**公園代わりに遊ぶ**ことができ、保育士の関わりや言葉かけが育児のヒントになることも。育児相談では、**保育士・栄養士・看護師**に育児の悩みなどを相談することができます。実施日時は、各園に事前にお問い合わせください。

〔担当：事業推進担当〕

お役立ち情報 ～区内に広がる子どもの学び・育ちの場～

区内には、令和3年1月現在、3つの公立保育所、65の民間保育所、31の認可外保育所、3つの認定こども園、8つの幼稚園、17の市立小学校があります。

さらに、8つの地域子育て支援センター、8つのこども文化センター、さまざまな子育てサロンなどとも連携して、地域全体で子育て支援を進めています。

★地域子育て支援センター★

子育ての相談ができ、子育て情報が得られ、講座も開催しています。子育てをする親同士が交流し、親子で気軽に遊べる場です。

開所日時は平日の日中3～5日で施設により異なります。公営の「すがお」と「さぎぬま」は、隔月で土曜日に開所しています。



★こども文化センター★

0歳から18歳までの子どものための、土日にも自由に遊べる施設。

子育てサークルなどのグループも部屋を借りて活動しており、さまざまな子ども向けの催しが行われています。



★保育・子育て総合支援センター★

公立保育所と地域子育て支援センター、保育所等・地域連携担当がひとつの建物に入り、地域の親子の交流や体験保育、医療的ケア保育、一時保育を受けることができる施設。研修・会議スペースもあり、研修などの人材育成も行うことができます。各区1か所ずつ建設予定で、宮前区では、令和5年度に土橋保育園を建替え、合築されます。

★妊娠中や子育て中の親子の居場所 ～子育てサロン～★

妊娠中や子育て中の親子を対象とした多くの子育てサロン・グループがあります。地域のことや子育てのことを話せば、きっと心が軽くなります。帰る頃には温かい気持ちで満たされ、楽しいひとときが過ごせる場所です。



お役立ち情報 ～乳幼児からの子育てに関する相談先～

すべての相談は無料です。名前を言わなくても大丈夫です。安心して、お話ししてください。

★子育てなんでも相談

(お家でできるあそびのヒント、子どもと過ごすヒント、お家でできる簡単レシピ、子どもの健康で気になることを保育士、栄養士、看護師がお答えします)

◆電話での相談 月～金 午前9時30分～午後5時

(地域子育て支援センターは午後4時30分まで)

土橋保育園 044-855-2877

中有馬保育園 044-854-0425

菅生保育園 044-977-9320

宮前区保育総合支援担当 044-856-3290

地域子育て支援センターさぎぬま 044-855-1751

地域子育て支援センターすがお 044-977-2051

◆区役所ホームページ内の専用フォームからの相談 (公立保育所および宮前区保育総合支援担当の保育士・栄養士・看護師が相談に応じます。すぐにお答えできないことがあります。ご了承ください。)



担当者から

～宮前区オリジナル「だいすきメロコス体操・ダンス」誕生秘話～

令和3年3月、保育所等・地域連携担当の保育士などが、宮前区PRキャラクターのメローとコスミンが登場する新曲「だいすきメロコス」を作り、ダンスの振付けをして、区内の保育所等・幼稚園に広げる準備をしていました。同じ曲で体操も作ろうと、健康づくりを進める地域支援課と、地ケアを推進する地域ケア推進課の3課が協力してプロジェクトが始動。

試行錯誤を重ね、同じ曲で体操とダンスができ、ジャンケンで交流できるよう、運動の専門家の協力も得て、強度が違う3種類の体操(立位2種類(しっかり・ゆったり)と座位)と未就学児向けのダンスの4種類を制作しました。曲は、宮前区にゆかりのある音楽プロデューサー青葉紘季氏(「365日の紙飛行機/ AKB48」などの作曲者)の手で、楽しく運動やダンスをしたくなるアレンジに。川崎市消防音楽隊がブラスバンドバージョンも作成。さらに区にゆかりのある約40の団体・機関、約300名が参加し、7つのキャラクター(着ぐるみ)も登場する動画もできました。動画には川崎市市民文化大使の松本利夫さん(EXILE)や福田紀彦市長(宮前区民)も出演しています。是非、みなさんも一緒に!

